

平成 25 年度 学校自己評価アンケート質問項目一覧表

<< 回答は次の 1~5 >>

よく当てはまる…1、やや当てはまる…2、あまり当てはまらない…3、全く当てはまらない…4、わからない…5

-----<生徒>-----

■社会人を育てる

- 1 学校へ行くのが楽しい。
- 2 津山工業高校には他校にない特色がある。
- 3 ホームルームなどで自分の生き方や進路について考える機会がある。
- 4 学校での就職や進学に関する指導が自分に役立っていると感じる。
- 5 学校では命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い。
- 6 先生は生徒の意見をよく聞いてくれる。
- 7 学校はいじめまたはいじめに類する行為に対して、真剣に対応している。
- 8 先生は他の先生や生徒に知られたくない秘密を守ってくれる。
- 9 学校行事は、みんなが楽しくなるよう工夫されている。
- 10 クラス全員がホームルーム活動に積極的に関わっていて活発である。
- 11 生徒会活動に関心を持っている生徒が多い。
- 12 積極的に部活動に取り組んでいる生徒が多い。
- 13 生徒たちは教室・廊下・階段など校内美化に努めている。
- 14 不審者との遭遇や身の危険を感じた場合の行動について十分な指導を受けている。
- 15 戸締まり消灯など、施設・設備の利用方法に関する適切な指導を受けている。
- 16 教室や特別教室、運動場などは授業や学校生活に適した設備が行き届いている。
- 17 津山工業高等学校の生徒はよく挨拶ができる。

■専門力を育てる

- 18 シラバスを見て科目の評価がよくわかった。
- 19 内容がわかりやすく、楽しい授業が多い。
- 20 自分の考えをまとめたり、発表したりする授業が多い。
- 21 資格・検定の受検率や合格率向上のための指導が十分である。
- 22 授業では視聴覚機器(ビデオなど)や ICT 機器(コンピュータなど)が活用されている。

■開かれた学校

- 23 ボランティアや奉仕活動に参加する機会が多い。
- 24 学校は地域の施設や人材を活用しようとしている。

■その他

- 25 先生は責任を持って授業やその他の仕事に従事している。
- 26 先生の指導は納得できる。

-----<保護者>-----

■社会人を育てる

- 1 進路に関する情報提供や連絡が十分であり、きめ細やかな進路指導がされている。
- 2 子供は学校へ行くのが楽しい様子である。
- 3 生徒に生命を大切にすることや社会ルールを守る態度を育てようとしている。
- 4 学校の生徒指導方針に共感できる。
- 5 すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢がある。
- 6 生徒は悩みを先生に気軽に相談することができる。
- 7 いじめまたはいじめに類する行為に対して、真剣に対応している。
- 8 各種委員会や学校行事などの生徒会活動は活発である。
- 9 生徒が文化祭・体育大会などの学校行事に積極的に参加できるよう工夫されている。
- 10 部活動が活発である。
- 11 学校は校内美化や施設の設備に努めている。
- 12 生徒は不審者との遭遇や身の危険を感じた場合の行動について十分な指導を受けている。
- 13 津山工業高等学校の生徒はよく挨拶ができる。

■専門力を育てる

- 14 シラバスを見て科目の評価がよくわかった。
- 15 わかりやすい授業が多いようだ。
- 16 資格・検定の受検率や合格率向上のための指導が十分である。
- 17 他校にない独自の教育活動に取り組んでいる。

■開かれた学校

- 18 学校には地域の施設や人材を教育活動に活用しようとする姿勢がある。
- 19 学校の教育方針がわかりやすく伝えられている。
- 20 出欠や学習状況についての家庭への連絡は適切である。
- 21 保護者宛の文書や事務連絡などは適切である。
- 22 学校は積極的に PTA 活動に取り組んでいる。
- 23 教職員は協働して教育活動充実に努めている

■その他

- 24 学校の施設・設備に満足できる。

-----<教職員>-----

■社会人を育てる

- 1 生徒ひとり一人の個性を尊重したきめ細かい進路指導ができています。
- 2 生徒が望ましい勤労観や職業観を持てるよう学年に応じた系統的な進路指導ができています。
- 3 生徒自らの生き方を考えさせ、豊かな心を持った生徒を育てようとしている。
- 4 生徒に社会規範や市民道徳を守る意識を育てる指導をしている。
- 5 問題行動に対して組織的な対応をしている。
- 6 人権問題を正しく理解し、差別や偏見のない社会を目指す主体的な生き方につながる指導をしている。
- 7 交通安全に対する意識を高める指導に努めている。
- 8 問題行動防止のための早期指導に心がけている。
- 9 生徒が担任以外にも相談できるなど、教育相談体制が整っている。
- 10 教職員は生徒の主体的、民主的な生徒会活動を支援している。
- 11 学校行事が生徒にとって魅力あるものにするために工夫・改善している。
- 12 ゴミの分別など環境を守る指導は適切である。
- 13 施設・設備の日常的な点検や戸締まり、消灯、施錠などの管理が行き届いている。
- 14 不審者や災害に対して迅速かつ適切な対処ができるよう役割分担が明確化されている。
- 15 教職員には金銭や物品の管理方法についての共通理解がある。
- 16 安全教育の徹底を目的とした警察や消防などとの連携に努めている。
- 17 挨拶が飛び交う学校となるよう努めている。

■専門力を育てる

- 18 教職員同士で日常的に教育課程について話し合っている。
- 19 各授業でわかる授業のための教材研究がなされている。
- 20 他の教員の授業を見学する機会がよくある。
- 21 資格・検定の受検率や合格率向上のための指導が十分である。
- 22 教職員同士で日常的に特色づくりや魅力づくりについて話し合っている。
- 23 ロボット・コンテスト等、各種競技会へ積極的に参加している。
- 24 各授業で ICT 機器が活用されている。
- 25 実験・実習に際して安全指導に努めている。

■開かれた学校

- 26 小中学校関係者や地域への広報活動は積極的である。
- 27 教職員は保護者や地域の方々と接する機会が多い。
- 28 学校は教育活動に関する情報収集と教職員や生徒・保護者への周知に努めている。
- 29 教職員は積極的に PTA 活動に参加している。
- 30 教育目標がわかりやすい。
- 31 教育目標を達成するための組織編成や運営方法が適切である。
- 32 当該年度の評価と反省が次年度の教育活動に活かされている。
- 33 職員会議や各種会議は情報交換と課題検討の場として機能している。

■その他

- 34 教職員の能力向上を目的とした研修会に参加する機会がある。
- 35 公文書の授受、発送、保管の管理が行き届いている。
- 36 職場には気軽に悩みを相談できる人間関係がある。
- 37 クラス経営の改善等に対して組織的な取り組みができています。
- 38 教職員は省エネや経費節減に心がけている。
- 39 教職員の評価システムは機能している。